

札総交第558号
平成16年(2004年)8月27日

札幌市総合交通対策調査審議会
会長様

札幌市長 上田 文雄

諮 問

札幌市総合交通対策調査審議会条例に基づき、本市の交通政策の重要事項である「公共交通を軸とした交通体系の確立」について、次のことを諮問します。

記

バスネットワーク維持のために札幌市が担うべき役割について

(諮問理由)

札幌市においては、人口や経済活動の集積を背景として、市街地の拡大が急速に進みました。

本市では、このような都市の急成長に対応し、特に都心方向に集中する移動を円滑に処理するため、ＪＲ及び地下鉄から成る大量輸送系交通機関を基軸として、市内を網羅するバスネットワークがこれらの各駅に接続する体系を構築してきました。

今後は、少子高齢社会への対応や環境負荷の低減に向け、交通体系の質的な充実を図り、公共交通を軸とした交通体系を確立していく必要があります。

しかし近年、公共交通の利用が全体的に伸び悩んでおり、中でもバス交通は、自家用車や自転車などとの競合などもあり、利用者が減少し続ける状況となっております。

このような中で、経営改善の見込みが立たなくなった札幌市営バスは、営業所単位による段階的な民営事業者への路線移行を経て、平成16年3月をもって廃止に至ったところです。

結果として、市内のバス路線は全て民営バス事業者が担うこととなりましたが、これら事業者の努力をもってしても取り巻く状況は厳しく、バスネットワークの維持に強い懸念が生じているところです。

公共交通体系の重要な要素であるバスネットワークを取り巻く、このような厳しい状況に対して、ネットワーク維持のために本市がどのような役割を担うべきか、具体的な手法も含めて、当審議会のご意見を賜りたく諮問する次第であります。